

## サイエンス・エンジェルオリエンテーション

実施日 2010年5月29日



### 活動概要

SA36名、SA(ボランティア)2名が出席し、平成22年度のサイエンス・エンジェル活動オリエンテーションが行われました。第一部では開会の挨拶の後、SAの自己紹介、スタッフの紹介、続いて、平成21年度の活動紹介として、出張セミナーについて、体験型科学イベントへの参加について、企画ワーキンググループについて、ネットワーキンググループについて、今年度より運用が開始されたSNSについて推進室員より報告がありました。また、SA活動に関する注意事項、今年度の活動計画、事業全体についての紹介があり、事務手続きの詳細な説明を行なわれました。第二部では今回初めての試みとしてSAOGの柿崎真沙子さんによるビジネスメール講習会が開催され、企画ワーキンググループを中心となって新規SAと継続SAのアイスブレイク(交流会)を行いました。参加者SA38名、SAOG含む関係者9名、合計47名。

## サイエンス・エンジェル活動報告会

実施日 2011年3月5日

会場 片平さくらホール 2階会議室



### 活動概要

平成22年度に行ったサイエンス・エンジェル活動について、参加したサイエンス・エンジェルによる活動の報告が行われました。はじめに、開会の挨拶があり、続いて今年度のSAを代表して農学研究科修士2年の千田はるかさんへ感謝状が贈られました。続いて、各イベントの報告が9名のSAにより行われ、第二部では「先輩から後輩へ 先輩SAからのメッセージ」という題名で株式会社資生堂より蓑田裕美さん、SAOGである長濱祐美さん、推進室副室長である大隅典子先生による発表が行われました。司会および進行等はSAの企画WG(鈴木杏奈、中村友香、千田はるか、原弥生、浅野成美、八木橋奈央、堀尾真里、沼尾恵利子)が担当しました。当日の参加者49名(SA含む)。



- 初めて参加させていただきました。SAの多さに驚き、多彩な活動をしている報告はとても興味深かったです。今後依頼する上での参考になりました。
- SAメンバーの方々の活動の様子、活動に参加した方々から得たものなど、生き生きとしたお話をうかがえて楽しかったです。

- 3人の講演全てが大変興味深いもので、今後の自身の活動や人生にプラスとなった。
- 自分が参加しなかった活動についても詳しく知ることができ、来年挑戦したいと思う企画を見つけることが出来ました。
- SAが発足してから5年が経ちますが、サイエンスイベントや出張セミナーにおいて過去のSAからのノウハウが生かされているなど感じました。

## SAによるSAへの活動

異分野が融合するSA、そして、OGからの経験談が大切なSAには、SA内にオリエンテーション、活動報告会の司会進行、研修会や研究交流会を企画し実施する「企画ワーキンググループ」、SA同士のネットワークを深めるため、メールマガジンの発行などを担当する「ネットワーキンググループ」が有志で構成され活動しています

## SA研修会:「瀬戸さんを囲んで」

実施日 2010年8月21日

会場 ブックカフェ BOOOK(ブーク)青葉山キャンパス

活動実施者 ●原 弥生 [薬学M2] ●八木橋 奈央 [生命M1](司会人)  
●他SA 3名



### 活動概要

SA一期生のSAOGで現在千葉工業大学にて研究員をされている瀬戸文美さんを囲んで、SAOGで医学研究科助教の柿崎真沙子さん、日新製薬株式会社勤務の今井由佳さんをお招きし、理系女子の卒業後、SA活動の経験談などについて話を伺った。参加者SAOG3名、SA5名、推進室員6名、合計14名。



今回初めて研修会参加でしたが、SAOGの方のお話を聞ける機会がある、というのが面白いと思いました。当日はOGの方々、先生方や現役SAの皆さんから様々な経験・考え方を通じて身に付けたことなどを直接聞くことができ、とても興味深い時間を過ごすことが出来ました。OGの方々や先生方からお話を聞くことはなかなか無いので、貴重な機会を得ることができたと思います。(伊東裕理)

周りに、女性がほとんどいないため、先輩方がどのように学生時代を過ごし、今の生活に至るのかを聞いてとても参考になりました。やはり、自分のやりたいこと、すべきことをきちんと理解して行動するのが大切なかなと思いました。そうすることで、やりたいことをやらずに我慢することもないと思います。ありがとうございました。(堀尾真里)

## 企画ワーキンググループ主催: SA研究交流会

実施日 2011年2月23日

会場 工学部管理棟5階ゼミ室2

活動実施者 ●SA企画ワーキンググループ



### 活動概要

専門分野の異なるサイエンス・エンジェル同士が自分のバックボーンや研究について紹介し合うことで知識や視野を広め異分野融合のきっかけをつくり、個々のつながりを深めるだけでなく、今後の研究SA活動へ応用させる事を目的として1人5分の研究紹介を行いました。

### 参加したSA:

原弥生(薬学M2)、伊東裕理(工学M2)、高橋さやか(生命M2)  
鈴木杏奈(環境M2)、中村友香(環境M2)、浅野晴香(理学M1)  
大橋祐美(農学M1)、八木橋奈央(生命M1)

- 生物や地学など普段自分が勉強しない分野のSAが多く、有意義な時間となりました。他の分野への興味がわき、非常に刺激となりました。
- キャンパスでは分野が似ていることがあるが、合同だと幅広く聞くことができるのが良かった。
- 改善点として進行順や進行係を決めておけばもっと時間を有効に使えたと思いました。
- 少人数だったので、ゆるゆるとできてよかったです。もっと大人数のとき、どうすればよいか考えなければと思います。